

## 玉名市の将来像について

玉名市立 天水中学校

こんにちは。天水中学校3年 小川 聖史 (おがわ さとし)です。本日はこのような機会をいただき、ありがとうございます。

さて、僕は玉名市天水町に住んでいます。玉名市の中で熊本市内に近い場所に位置していますが、農業が盛んで、ミカンやトマト農家がたくさんある、のどかな町です。しかし、玉名市の課題の一つである、人口減少、少子高齢化は進んでおり、天水中学校の生徒数も年々減少しています。小学校も統廃合され、私たちは少子高齢化を肌で感じています。

天水中学校では総合的な学習の時間に「ふるさと天水に学ぶ」ことをテーマに学習を進めており、去年もコロナ禍の大変な状況の中、天水町のたくさんの事業所、農家の皆さんにお世話になり、職場体験学習を行うことができました。天水町の事業所の皆さんや、天水中学校の卒業生の皆さんに話を聞く機会もあり、天水町の皆さんの思いに触れることができました。農家の後継ぎ問題、若い世代が働く場所が少ないこと、交通の便があまりよくないことなど様々なお話を伺いました。また、2年生は地域の交通安全に着目し、地域に取材に行き、危険箇所について調べました。その結果、天水町には草が生い茂っていて危険なところや、道路の舗装が完全ではないところ、また、信号機がなくて交通事故が多いところがあり、地域の人たちも、その調査、修復を願っておられることがわかりました。

そんな中、僕が一番心に残っているのは、天水町で子育てをされているお母さんのお話でした。少子高齢化が進む玉名市が、子育てしやすい街になるためにはどうすればいいのか。産婦人科、小児科といった、子どもを産み育てる過程において必要な医療体制の充実、きれいなトイレや、おむつを交換できる場所を完備した公園の整備などが考えられると思います。また、子育て世代に優しいアパートや団地があれば、そこを中心に子育てのしやすい街づくりができるのではないかと考えます。

玉名市としては、人口減少と少子高齢化を食い止めるために、具体的にどのような改善策を考えていらっしゃいますか。教えてください。(1-①)

こんにちは 天水中学校3年 柿塚 皓汰 (かきづか こうた)です。よろしくお願ひします。

僕も、小川君と同様、玉名市天水町に住んでいます。天水町は農業が盛んで緑も多く、良いところだと思います。天水町に生まれ、15年間天水で過ごしてきましたが、僕たち中学3年生は今、受験を控え、自分の進路について考える時を迎えています。僕自身、3年間、どのようにして通学するのか、何を学んで、どんな将来に結び付けたいのか、思い悩んでいます。

天水町は、距離的には熊本市に近く、天水中から熊本市内の高校へ進学する人がた

くさんいます。毎年、天水中生の約半分が熊本市内へ、あとの半分が玉名市内へ進学しているようです。ただ、天水町から進学する場合は、通学方法に課題があると思います。玉名市内の高校に行くにしろ、熊本市内の高校に行くにしろ、駅までの距離が遠いため、どちらの高校を選んでも通いにくいと思います。天水町に住む者としては、熊本市内に行くバスも玉名市内に行くバスも少ないので、もう少しバスの本数を増やしていただくなど、便利になるといいなと思います。

しかし、一番の問題点は、玉名市の少子化、人口減少にあると思います。人口が増えれば、バスの需要も増えるし、玉名市の高校が定員割れを起こしている現状を打破できるはずです。新幹線も通るようになり、観光の面でも活性化するように、様々な策を練っていらっしゃると思いますが、人口が減少しているのは確かなことです。

そこで、僕が提案したいのは、JR玉名駅周辺の再開発です。玉名駅周辺は飲食店や商業施設もありますが、普段はあまりにぎわっていないのが現状です。その原因の一つに歩く距離があると思います。駅通りには様々な店がありますが、駅を降りて歩くにはかなりの距離があると感じます。そこで、玉名駅周辺を再開発し、カフェや水場のある公園、映画館など、子ども連れの人たちが遊びに来られる施設を作ってほしいです。私たち市民はやはり、新幹線より、普通のJRを利用することが多いので、玉名駅周辺に様々な施設ができ、通過してしまう駅ではなく、玉名駅で降りて、楽しめるようになったらうれしいと思います。

玉名市としては、玉名駅周辺の開発、観光事業の今後の展開についてどのようにお考えでしょうか。具体的に計画されていることがあれば教えてください。(1-②)

こんにちは。天水中学校3年 坂門 迪亮 (さかど みちあき)です。よろしくお願ひします。

僕たちの町、天水町は数年前から小学校の統廃合について検討が重ねられ、つい2年前、小天東小学校が統廃合されました。僕は、小天東小学校の出身です。同じ学年には7人しかいませんでしたが、みんな仲が良く、楽しく過ごせていました。最後の年は全校生徒数が13人となり、統廃合されるのは仕方がないことかと思いましたが、やはり、自分が通った学校がなくなるのは悲しいことでした。そして今、僕は天水中で充実した毎日を過ごしていますが、僕が6年間通った小天東小学校はひっそりと息をひそめています。たまに体育館や運動場を利用している人はいるようですが、まだまだ利用価値があると思います。

小天東小学校だけでなく、玉名市には少子高齢化に伴い、利用されなくなった校舎がいくつかあると思います。その中で、三ツ川小学校の跡地はキャンプ場になったと聞いています。そこで、小天東小学校をはじめ、使わなくなった校舎を有効利用できないかと考えてみました。

三ツ川小学校がキャンプ場になったと聞き、それはいい計画だと思いました。キャンプは今、注目されているし、小天東のような山の上にある場所はキャンプに適していると思います。しかし、僕は、キャンプだけでなく、このコロナ禍だからこそ、リモートワークに使えるようなワークスペースとして貸し出したらどうかと思います。

Wi-Fi を完備して、教室の一つ一つを、仕事をするスペースとして貸し出す。そして、夜はキャンプをしたり、普通に泊まったりできるような施設にできないでしょうか。今、はやりのワーケーションです。また、校舎全体をどこかの企業に使ってもらえると、若い人たちの働く場所も増え、少子高齢化対策にも役立つのではないかと思います。

空き家が増えると町が活性化しないように、空いている学校があると、どうしても寂しい気持ちになってしまいます。今後、玉名市としては、利用されなくなってしまった学校の校舎をどのようにしていこうとお考えですか。教えてください。(1-③)